

不動産競売事件の入札のルールが変わりました。

- 暴力団員等や、役員に暴力団員等がいる法人は、買受人となれません。
- 暴力団員等から資金の提供等を受けた個人・法人は、買受人となれません。

入札時に入札書ごとに下記の各書面を提出する必要があります。

暴力団員等に該当しない旨の **陳述書**（個人・法人を問わず）

※入札時に提出がないと入札が無効となります（追完不可）。

※記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。

※提出後の訂正はできません。

住民票（個人の場合）

資格証明書（法人の場合）

※入札時に提出がないと入札が無効となります（追完不可）。

※法人の場合は従前どおり資格証明書の提出が必要ですが、個人の場合も住民票の提出が必須になりました。

※住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

※入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

宅地建物取引業の免許証の写し（宅地建物取引業者の場合）

※有効期限内のものを提出してください。

※（入札方法に関する問合せ先）

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 10 月 27 日

那覇地方裁判所

裁判所書記官 渡 口 三十美

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 11 月 18 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 11 月 25 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 8 年 12 月 2 日 午前 9 時 30 分 那覇地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 8 年 12 月 23 日 午前 9 時 45 分 那覇地方裁判所
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 10 月 27 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番地 3

建物の名称 ファイン志真志

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 宜野湾三丁目 24 番 3 の 2

建物の名称 202

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 85.31 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番 3

地 目 宅地

地 積 614.77 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 10 万 7870 分の 8925



物 件 明 細 書

令和 8年 2月 3日

那覇地方裁判所

裁判所書記官 國 吉 克 弥

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

Aが占有している。同人の賃借権は抵当権に後れる。ただし、代金納付日から6か月間明渡しが猶予される。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

管理費等の滞納あり。売却基準価額の基礎とされた滞納管理費等の控除割合は、買受人が管理組合に支払う金額を確定するものではない。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ



ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
(このほか、B I Tのお知らせメニューにも掲載されています。)



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番地 3

建物の名称 ファイン志真志

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 宜野湾三丁目 24 番 3 の 2

建物の名称 202

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 85.31 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番 3

地 目 宅地

地 積 614.77 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 10 万 7 8 7 0 分の 8 9 2 5



令和 7 年(ケ)第 69 号
令和 7 年 11 月 13 日受理
令和 7 年 12 月 16 日提出

現況調査報告書

那覇地方裁判所

執行官 國吉 正太

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1（一棟の建物の表示）

所 在 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番地 3

建物の名称 ファイン志真志

（専有部分の建物の表示）

家屋 番号 宜野湾三丁目 24 番 3 の 2

建物の名称 202

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 85.31 平方メートル

（敷地権の目的である土地の表示）

土地の符号 1

所在及び地番 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番 3

地 目 宅地

地 積 614.77 平方メートル

（敷地権の表示）

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 10 万 7 8 7 0 分の 8 9 2 5

(区分所有建物用1)

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	宜野湾市宜野湾3丁目13番30号	
建物	物件 1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している。 ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	☒ 次のとおり (月額) 管理費 18,000円 修繕積立金 22,000円 円 円 円	令和 7年10月31日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある 令7年3月分～同年10月分 計320,000円 ☐ 不明
管理費等照会先	沖縄共和管理有限会社	
その他の事項		
敷地権	符号 1	
現況地目	☒ 宅地 (符号 1) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号 1) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)	
その他の事項	接面道路：道路に接面する。	
執行官保管の仮処分	☒ ない [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 ☐ ある [保管開始日 平成 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 1 関係)			
占有範囲		■全部 ☐	
占有者		■A ☐	
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 車庫 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫	
■関係人(■A(占有者) ■所有者)の陳述／■提示文書(賃貸借契約書)の要旨			
占有権原		■賃借権 ☐ 使用借権 ☐	
占有開始時期		令和 5 年 1 2 月 2 5 日	
最初の	契約日	令和 5 年 1 2 月 2 2 日	
契約等	期間	令和 5 年 1 2 月 2 5 日から ■令和 7 年 1 2 月 2 4 日まで 2 年間 ☐ 期間の定めなし	
更新の種類別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
契約等	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎月 金 1 0 5 , 0 0 0 円 (毎月末日限り 翌月分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		☐ ない ■ある (■敷金 1 0 5 , 0 0 0 円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他			
執行官の意見		■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は,「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 駐車場について

目的物件の存在するファイン志真志には、敷地内に駐車場が確保されているところ、目的物件に専用的に割り当てられた駐車スペースが1区画あり、料金は、無料である。

駐車場の割当場所については、1年に1回、抽選により決められるとのこと。

■ 令和7年10月31日現在の修繕積立金総額は19,381,062円である。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(関係人の陳述等用)

関係人の陳述等

陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■ A (占有者)	本件建物を契約書どおりに賃借して居住しています。
■所有者	本建物の賃貸借関係は、賃貸借管理会社に依頼しています。

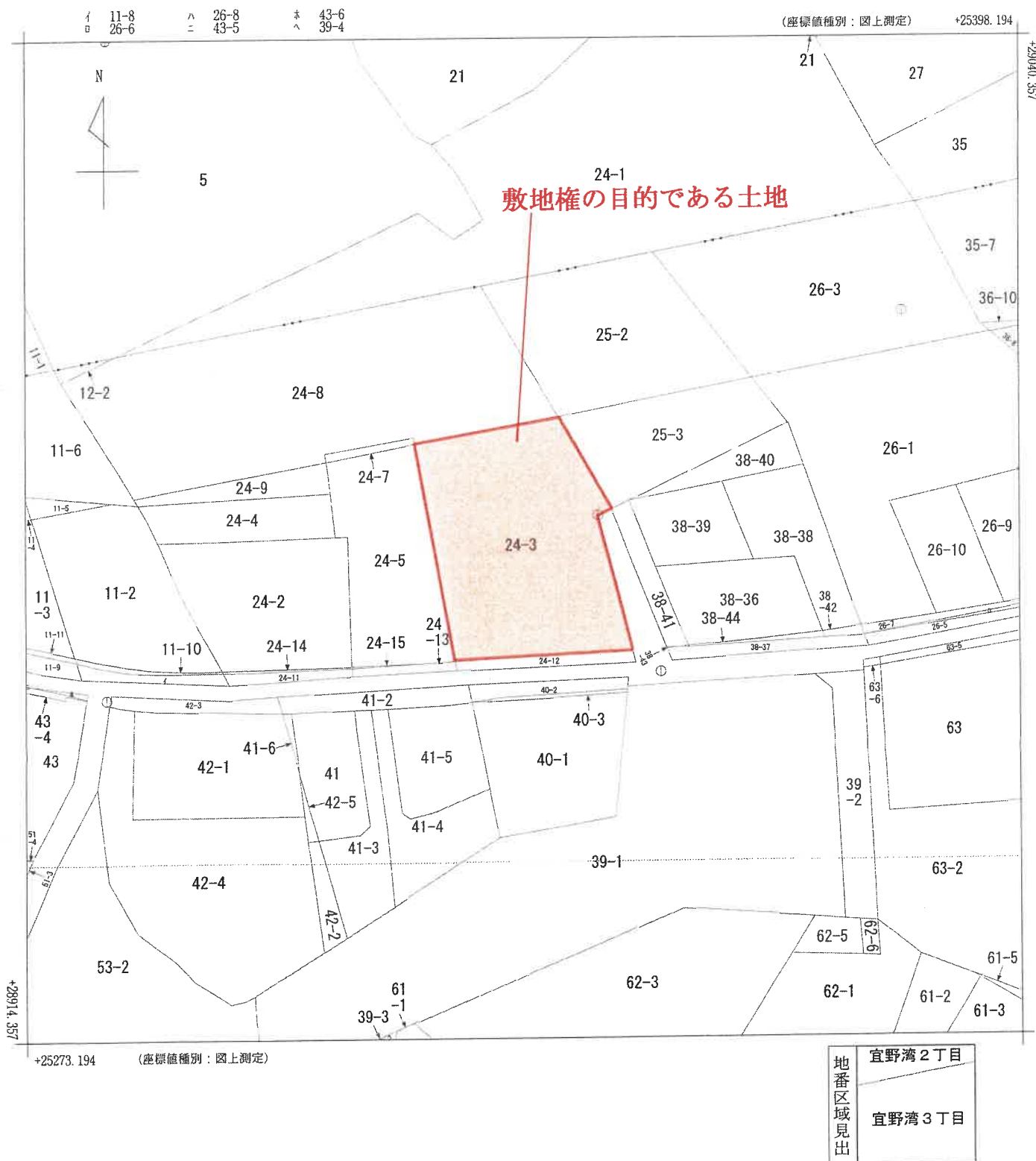
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年11月17日 11:20-11:40 14:40-14:50 16:00-16:10	物件所在地 執行官室 執行官室	物件確認(土地・建物位置関係等外観調査), 写真撮影 所有者から電話聴取 管理会社に管理費等照会文書作成・送付
7年11月18日 10:30-10:40 13:00-13:10	那覇地方法務局 管理会社(宜野湾市宇地泊)	謄本等入手 管理会社(賃貸)社員と面談、賃貸借契約書写し受領
7年12月11日 9:40-10:20 13:00-13:10	物件所在地 執行官室	物件特定、写真撮影、立入調査、占有者と面談 管理会社から駐車場利用関係電話聴取
年 月 日 : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

[公函写]



請求部	所在	宜野湾市宜野湾三丁目					地番	24番3		
出力縮尺	1/500	精度区分	乙一	座標系番号又は記号	X V	分類	地図(法第 1 4 条第 1 項)		種類	地籍図
作成年月日					備考 付年月日 (原図)			補記事項		

A 3 $\rightarrow$ A 4 に縮小

(7 枚目)

[建物図面・各階平面図]

物件 1

建各階平面圖

513533

24番30の2

各階平面図

家屋番号

建物番号 202

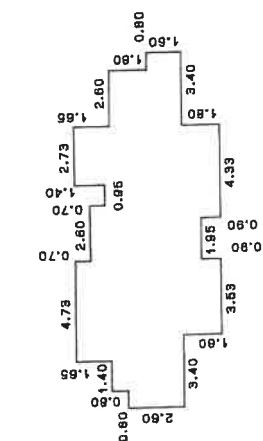
三、

丁巳年二月

實地

建物の所在

地图番号 (J54-4)

[illegible]

合球面	計	85.3135
		85.31 m

(事物の存する部分 3階)

(日課表12)

(日加納)

7.3.2

土地家屋
作製者

月二女日作製)

英尺	1	250
----	---	-----

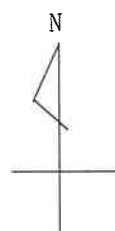
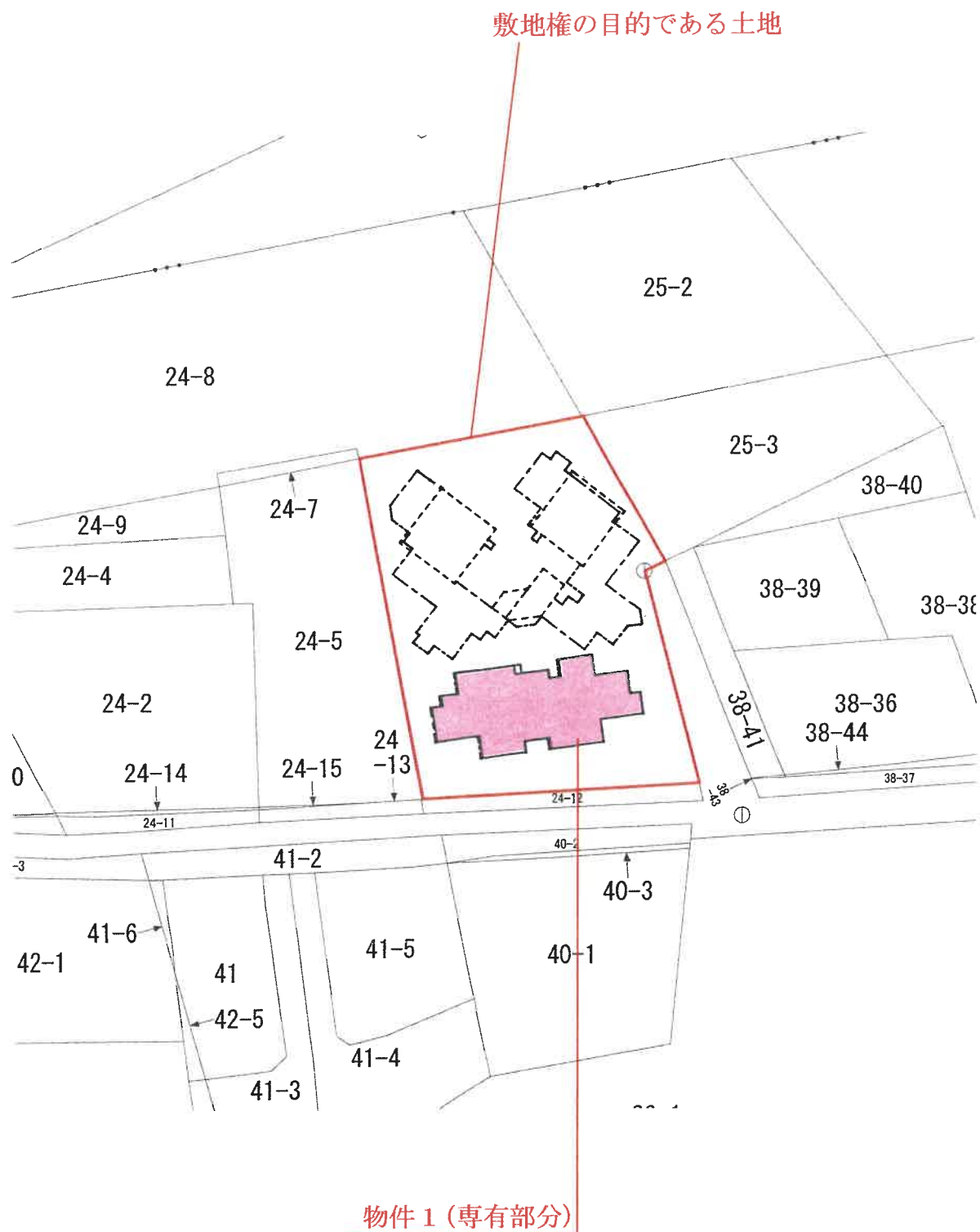
人請申

縮尺 1/500

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

A3→A4に縮小

[土地建物位置関係図]



縮尺 1/500



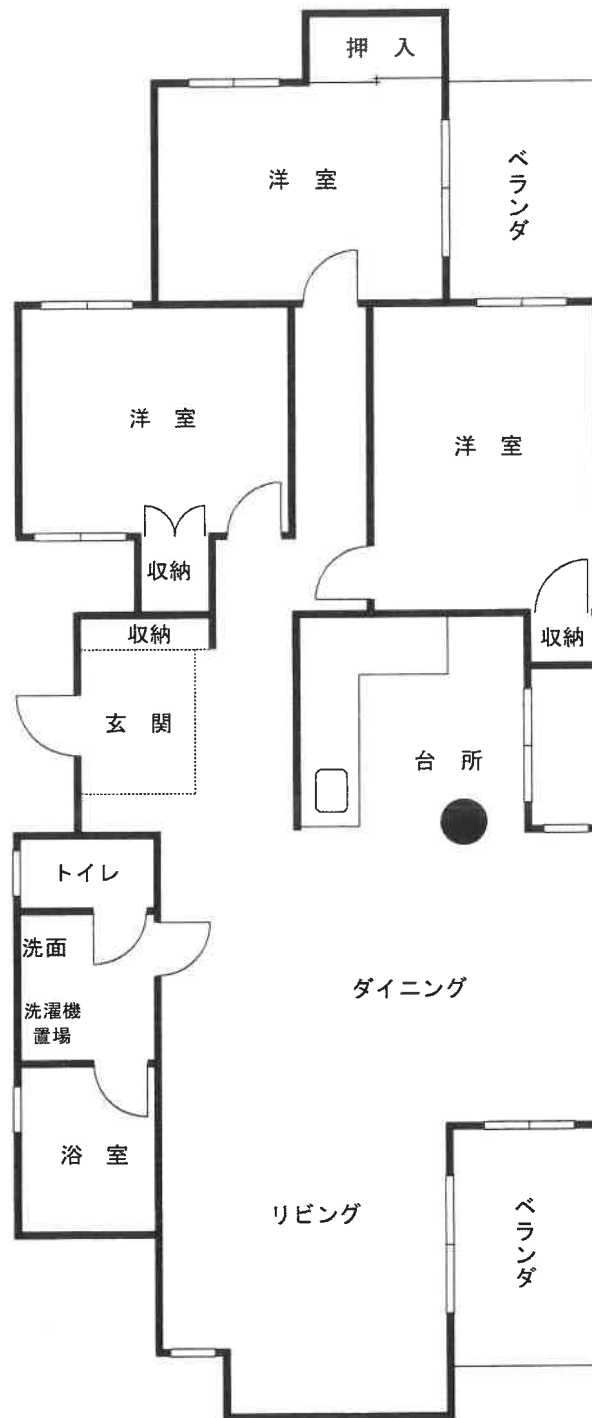
1



2

[建物間取図]

物件 1





3



4



5



6

副 本

令 和 7 年（ケ）第 69 号

令 和 7 年 12 月 11 日現地調査

令 和 7 年 12 月 16 日評 価

那覇地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
伴 清 敬 印

第1 評価額

物 件 番 号	評 価 額
物件 1	金 14,460,000 円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容も、民事執行法58条4項に定める場合を除いて公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 建 物 の 名 称	(一棟の建物の表示) 宜野湾市宜野湾三丁目 24 番地 3 ファイン志真志	「特記事項」 記載のとおり
	家 屋 番 号	(専有部分の建物の表示) 宜野湾三丁目 24 番 3 の 2	
	建 物 の 名 称	202	
	種 類	居宅	
	構 造	鉄筋コンクリート造 1 階建	
	床 面 積	3 階部分 85.31 m ²	
	土 地 の 符 号	(敷地権の目的である土地の表示) 1	
	所在及び地番	宜野湾市宜野湾三丁目 24 番 3	
	地 目	宅地	
	地 積	614.77 m ²	
	土 地 の 符 号	(敷地権の表示) 1	
	敷地権の種類	所有権	
	敷地権の割合	107,870 分の 8,925	
番 号	特 記 事 項		
1	・敷地権の目的である土地の数量については、登記事項証明書記載の地積を採用して評価した。		
住居表示		「宜野湾 3-13-30」	

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1敷地権）

位置・交通 (道路距離)	最寄バス停「沖縄国際大学前」の西方 道路距離約 80m(徒歩約 1 分) (別添位置図参照)	
付近の状況	宜野湾市の南部、長田交差点の南西方約 800m（直線距離）に位置する。当該物件の近隣地域は、大学前に中層共同住宅のほか店舗等が建ち並ぶ地域である。 なお、地域環境等が大きく変化する要因はなく、今後とも現状のまま推移するものと予測する。	
主な公法上の 規制等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制内容)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域 60% 200% — 宜野湾市景観計画
画地条件	地積：614.77 m ² 形状：やや不整形 間口：約 18m 奥行：約 28m 地勢：画地内に高低差あり その他：—	
接面道路の状況	北側 幅員約 18m舗装市道(建築基準法第 42 条第 1 項 1 号の道路) 南側 幅員約 5m舗装市道(建築基準法第 42 条第 1 項 1 号の道路) 東側 幅員約 2～4m里道(建築基準法上の道路ではない)	
土地の 利用状況等	目的土地（敷地権）の上には、目的建物（区分所有建物）が建っている。	
供給処理施設	上水道 あり、 都市ガス なし、 下水道 あり	
特記事項	・現地調査及び官公署からの公表資料を調査した範囲では、土壌汚染をうかがわせる事実は認められず、また埋蔵文化財の存する可能性は低いと判断した。	

2. 建物の概況及び利用状況（物件 1）

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	ファイン志真志
建物用途	共同住宅（戸数 14 戸）
建築時期及び 経済的残存耐 用年数等	建築年月日（登記記載）：平成 7 年 2 月 22 日（新築） 経過年数 約 30 年 経済的残存耐用年数 約 30 年
構 造	鉄筋コンクリート造 7 階建
仕 様	屋 根 コンクリート屋根ルーフィング重ね葺・陸屋根 外 壁 吹付等
設 備 等	・エレベーター、オートロック
建物の品等	概ね普通
管理の形態等	管理組合：有 管理方式：委託（沖縄共和管理有限会社） 管理形態：管理人なし
管理の状況	普通
特 記 事 項	・敷地内駐車場あり。 ・南側市道に対して建物 2 階が面している。

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄筋コンクリート造 1 階建
位 置	3 階角部屋 主要開口部の方位：南
床 面 積	85.31 m ² （登記記載面積）
間 取 り	3 L D K 後添「建物間取図」参照。
仕 様	天 井 クロス、プリント合板、吹付ほか 床 フローリング、畳ほか 内 壁 クロス、タイルほか 設 備 電気設備、給排水、衛生設備等 その他 なし
保守管理の 状 態	目視による確認の範囲では、概ね普通程度と判断した。
管 理 費 等	管 理 費：18,000 円（月額） 修繕積立金：22,000 円（月額） 滞 納 額：320,000 円（令和 7 年 10 月 31 日現在）
専有部分の 利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	南側市道から見ると建物 2 階に相当する。

第5 評価額算出の過程

本件においては、積算価格、比準価格を求め、試算価格を調整のうえ評価額を後記の通り決定した。なお収益価格については、築後30年経過した建物であることから求めなかった。

I. 積算価格の試算

建物価格、敷地権価格を査定し、これを合算して積算価格を試算した。

1. 建物の価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	専有床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ≒(A)
336,000	85.31	0.333	9,545,000

ア 再調達原価：同一需給圏内に存する類似建物の標準的な建築費用に基づき、当該物件の構造、共用部分の規模と内容、使用資材の品等を総合的に考慮して査定した。

$$\begin{array}{ccccc} \text{標準的単価} & & \text{品等補正} & & \text{再調達原価} \\ 336,000 \text{ 円/㎡} & \times & 1.00 & \div & 336,000 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

イ 専有床面積：登記床面積を採用。

ウ 現 価 率：

$$\begin{array}{l} \text{残価率} \quad \text{構成比率} \quad \text{経済的残存耐用年数} \quad \text{経済的耐用年数} \\ \text{i. 躯体部分：} (1-0.1) \times 50\% \times (30 \text{ 年} / 60 \text{ 年}) \div 0.225 \\ \text{ii. 仕上部分：} (1-0.1) \times 35\% \times (5 \text{ 年} / 35 \text{ 年}) \div 0.045 \\ \text{iii. 設備部分：} (1-0.1) \times 15\% \times (0 \text{ 年} / 15 \text{ 年}) \div 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{残価率} \\ \text{iv. 経年減価による現価率：} 0.1 + (i + ii + iii) \div 0.370 \end{array}$$

v. 観察減価法による減価率：10%（保守管理の状態及び中古マンションの市場性を勘案し、減価不要と判断した。）

$$\text{vi. 現価率：} 0.370 \times (1-0.10) \div 0.333$$

2. 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	敷地権割合 オ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ÷(B)
1	149,000	0.90	614.77	0.95	$\frac{8,925}{107,870}$	6,480,000

ア 標準画地価格 マンション標準地 No.7 の標準地価格を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccc} \text{公示価格等} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} \\ 169,000 \text{ 円/㎡} \times \frac{109}{100} \times \frac{100}{103} \times \frac{100}{120} \div 149,000 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

*時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

*標準化補正 : 1.03 (二方路+3)

*地域格差 : 街路条件 交通接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
 $0.98 \times 1.04 \times 1.18 \times 1.00 \div 1.20$

イ 個 別 格 差 : 三方路 地勢 形状 個別格差
 $1.03 \times 0.90 \times 0.97 \div 0.90$

ウ 地 積 : 登記事項証明書記載の数量による。

エ 建付減価補正率 : 建物の築年数及び建物と敷地との適応の状態等を考慮し査定した。

オ 敷地権割合 : 登記事項証明書記載の敷地権割合による。

3. 積算価格

建物価格と敷地権価格を合算し、物件自体の階層・位置等による個別格差修正等を施して積算価格を求めた。

建物価格 (円) ア(A)	敷地権価格 (円) イ(B)	個別格差 (階層、位置、品等程度) ウ	その他補正 エ	積算価格 (円) (ア+イ)×ウ×エ÷(C)
9,545,000	6,480,000	1.05	1.00	16,826,000

ウ 個別格差 : 階層 (3 階)、位置 (角部屋)

$$\begin{array}{ccccc} \text{階層別効用比} & \text{位置別効用比} & \text{その他} & \text{個別格差} & \\ 97/100 \times 108/100 \times 100/100 \div 1.05 \end{array}$$

エ その他補正 : 不要と判断した。

II 比準価格の試算

1. 基準階の比準価格

取引事例価格に比準して基準階の比準価格を下記のとおり査定した。

取引事例価格 (円/㎡) ア	時点修正 イ	標準化 補正 ウ	交通接近及 び環境条件 エ	建物の品 等修正等 オ	その他 補正 カ	基準階の比準価格 (円/㎡) $\text{ア} \times \text{イ} \times \text{ウ} \times \text{エ} \times \text{オ} \times \text{カ} \div (\text{D})$
228,578	$\frac{102}{100}$	$\frac{100}{107}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{100}$	218,000

ア 取引事例価格：後添付取引事例参照。

イ 時点修正：地価の変動及び建築費の変動を勘案して上記のとおり査定した。

ウ 標準化補正：取引事例は7階建の3階南角部屋であり下記の通り標準化補正を行った。

$$\begin{array}{ccccc} \text{階層別効用比} & & \text{位置別効用比} & & \text{標準化補正} \\ 0.99 & \times & 1.08 & \div & 1.07 \end{array}$$

エ 交通接近条件及び環境条件：都心への接近性、環境等を考慮して下記の通り査定した。

$$\begin{array}{ccccc} \text{交通接近条件} & & \text{環境条件} & & \text{その他} \\ 1.00 & \times & 1.00 & \times & 1.00 \\ & & & & \div 1.00 \end{array}$$

オ 建物の品等修正等：品等や老朽化の程度を比較して上記のとおり査定した。

カ その他の補正：なし

2. 比準価格

基準階の比準価格に物件の個別格差並びに床面積を乗じ、その他補正を考慮して比準価格を次のとおり求めた。

基準階の比準価格 (円/㎡) ア(D)	個別格差 (階層・位置・品等) イ	専有床面積 (㎡) ウ	その他補正 エ	比準価格 (円) $\text{ア} \times \text{イ} \times \text{ウ} \times \text{エ} \div (\text{E})$
218,000	1.05	85.31	1.00	19,527,000

イ 個別格差：階層（3階）、位置（角部屋）

エ その他補正：なし

Ⅲ 評価額の判定

1. 試算価格の調整

試算価格が以下の通り求められた。積算価格は土地と建物の現在価値をそれぞれ査定して合算したものである。比準価格は、類似性の高い中古マンションの取引事例から比準したものであり、市場性を反映した価格といえる。

比準価格は、昨今の中古マンションの需要の高さを反映している点で説得力が高いといえる。そこで比準価格をやや重視し、積算価格を関連付けて調整後の目的物件の評価額を以下の通り決定した。

	占有減価修正前の 試算価格（円） ア（C・E）	占有減価 修正率 イ	試算価格 （円） ア×イ	調整割合
積算価格	16,826,000	1.00	16,826,000	40%
比準価格	19,527,000	1.00	19,527,000	60%
調整後の価格	18,447,000 円(F)			

イ 占有減価修正率：特に修正の必要はない。

2. 評価額の判定

試算価格調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額の減価並びにその他の控除減価（敷金等）を考慮して評価額を求めた。

調整後の価格 （円） ア(F)	市場性 修正率 イ	競売市場 修正率 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 減価（敷金等） オ	評価額（円） ア×イ×ウ×エ×オ
18,447,000	1.00	0.80	(1-0.02)	—	14,460,000

イ 市場性修正：修正不要と判断した。

ウ 競売市場修正率：評価条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

エ 滞納管理費等相当額の減価：代金納付に至る間の管理費等の滞納相当額を競売市場修正率を加えた価格で除した割合として控除する。

オ その他の控除減価（敷金等）：なし。

第6 参考価格資料

1. マンション標準地 No. 7

所 在：宜野湾市真志喜2丁目6番4「真志喜2-6-11」

マンション名：ライオンズマンション真志喜第2

標準画地価格：169,000 円/㎡（価格時点 R5. 4. 1）

敷 地 面 積：772.97 ㎡

一棟の建物の概況：①構造：R C 8 F、②延床面積：1535.30 ㎡、③総専有面積 1332.64 ㎡、④建物の品等：中品等

前 面 街 路：南東6m市道、二方路

用 途 指 定 等：第二種中高層住居専用地域（容積率 200%）（実際容積率 199%）

2. 取引事例

所 在：宜野湾市南部

取 引 時 点：令和6年3月

取 引 価 格：228,578 円/㎡

（専有部分）専 有 面 積：85.31 ㎡

階層・位置等：7階建ての3階、角部屋、3LDK

第7 附属資料の表示

- 1 物件位置図
- 2 公図（写）
- 3 建物図面・各階平面図（写）
- 4 土地建物位置関係図
- 5 建物間取図
- 6 現況写真

（B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照。）

以 上

[位置図]



[scale:1/10,000]

マンション標準地No.7

物件 1